

参照データセットについて

財団法人ニューメディア開発協会

参照データセットの選定

政府

政府基本問題専門部会・共通システム専門部会了承
(平成14年3月)

申請データ設計ガイドライン

申請者と各行政機関の汎用受付等システム間で受渡しする申請データ、共管手続における申請データを設計するための指針

財団法人ニューメディア開発協会(平成14年5月)

電子申請用XML様式の設計ガイドライン(第2版)

申請者から各行政機関の電子申請システムに提出される申請書様式の電子化のための指針。「申請データ設計ガイドライン」で参照・推奨されている。

財団法人ニューメディア開発協会(平成16年3月)

平成14年度官民連携起業手続一元化事業「GPPデータセット仕様書」

GPP方式による官民連携ワンストップサービスにおける共通的なデータセット構成を定義

自治体

総務省(平成16年3月)

平成15年度 電子自治体推進パイロット事業

電子自治体推進パイロット事業の実証実験における汎用受付システムで使用するために設計されたXML

総務省(平成16年11月、平成17年3月)

データ標準化WG、データ標準化推進地方公共団体協議会の設置

電子自治体構築にあたり、データの標準化に関する検討及び作業を行うWGを設置。また地方公共団体の代表で構成する協議会を設置し、WGの成果をオープンライズし、データ標準化を推進。

総務省(平成16年～)

- ・国・地方連携データのXMLタグ設計
- ・システム間連携データのXMLタグ設計
- ・電子申請情報のXMLタグ設計
- ・バックオフィスのデータベースのモデリング

総務省

平成17年度 次世代地域情報プラットフォーム事業

Webサービス技術による自治体情報システムのオープン化とプラットフォームの標準化を目指す

民間

業界標準



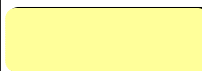
地理情報

ebXML

電子商取引



電子カルテ



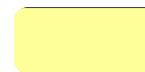
旅行業界



財務情報

UBL

電子商取引



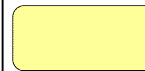
コンテンツ情報



新聞業界

...

システム独自



...

太線で囲んだデータセットを参照することとする

参照データセット概要：政府

1. 汎用受付等システムの構築・運用に関する共通事項 「申請データ設計ガイドライン」

- 策定者：政府基本問題専門部会・共通システム専門部会了承
- 策定日：平成14年3月29日、最終改定平成15年6月6日
- 目的：各省庁の汎用受付等システムの構築・運用にあたって、各行政機関間で整合性を図る
- 共通項目に関する規定内容：
 - 申請データ：申請データのデータ項目、項目の分割方法、文字種、備考（フォーマット等）
 - 共管データ：構成管理情報のデータ項目、内容、タグ名、フォーマット、備考
- 選定理由：政府の汎用受付等システムで使用されているため

2. 電子申請用XML様式の設計ガイドライン（第2版）

- 策定者：財団法人ニューメディア開発協会
- 策定日：平成14年5月17日（第2版）
- 目的：電子申請システムの申請書様式の作成者が参考とする情報を提供する
- 共通項目に関する規定内容：
 - モジュール名、モジュール定義、説明、利用例
- 選定理由：上記「申請データ設計ガイドライン」共通項目作成時の参考とされ、また、タグ設計において参考とすることを推奨されており、政府汎用受付等システムの実質的なガイドラインであるため。

参照データセット概要：政府

3. 平成14年度官民連携起業手続一元化事業 「GPPデータセット仕様書」

- 策定者：財団法人ニューメディア開発協会
- 策定日：平成16年3月
- 目的：GPP方式による官民間の手続連携のためのデータセット構成及び構成管理情報の内容を定義
- 共通項目に関する規定内容：
データ項目、内容、タグ名、フォーマット、必須／オプション別
- 選定理由：官民間の手続連携のために検討された仕様であるため

参照データセット概要：自治体

電子自治体構築に向けた検討組織体制

電子自治体の構築を進めるに当たって、データの標準化に向けた取組みが喫緊の課題になっていることを踏えて、別紙の体制でデータ標準化の検討をおこなっている。「電子自治体のシステム構築のあり方に関する検討会」のもとには、「データ標準化WG」を設置し、データ標準化に関する検討及び作業を実施している。併せて地方公共団体の代表で構成される「データ標準化推進地方公共団体協議会」を設置し、WGの成果をオーソライズし、電子自治体の構築のためのデータ標準化を推進している。

また、国と地方公共団体間の情報交換のためのデータのタグ設計については、「国・地方連携システムのあり方検討WG」において、「電子行政推進国・地方公共団体協議会（平成15年8月29日関係府省申し合せにより設置）」に置かれた「霞が関WAN、LGWAN連携部会」と連携して、標準化を進めている。

・設置

- データ標準化WG：平成16年11月
- データ標準化推進地方公共団体協議会：平成17年3月
- 国・地方連携システムのあり方検討WG：平成16年7月
- 霞が関WAN、LGWAN連携部会：平成15年12月

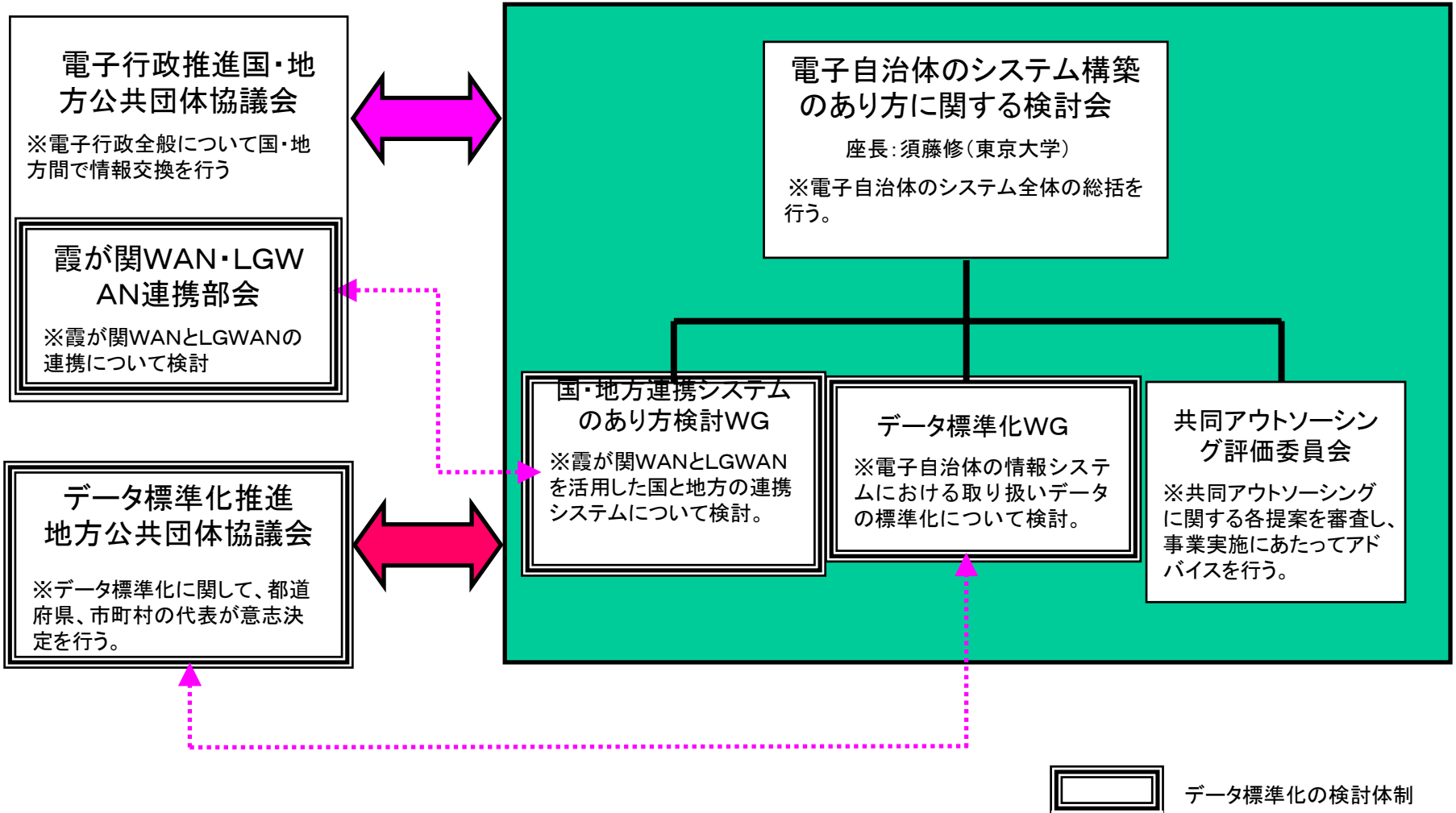
・事務局

総務省

・これまでの成果

要素・属性などの命名規約、名前空間URI命名規約、文字コード、外字に関する規則、スキーマ言語プロファイル、XMLプロファイル

電子自治体構築に向けた検討組織体制



参照データセット概要：民間

1. ebXML (electronic business XML)

「UN/CEFACT コア構成要素ライブラリ」

- 策定者：ebXML (OASISとUN/CEFACTが母体となってできた団体)
- 策定日：平成17年1月25日
- 目的：ebXMLを使用している全ビジネスドメインで共通に使用できるコア構成要素を定義する
- 共通項目に関する規定内容：
辞書登録名、要素種別、定義、オブジェクトクラス、プロパティ、表記用語など
- 選定理由：ebXMLは、世界規模での企業間電子商取引に使われる標準技術を目的とする技術仕様であり、業種、規模、国家に依存しない仕様を目指しており、今後民間企業における採用が見込まれるため。

2. UBL (Universal Business Language)

- 策定者：OASIS
- 策定日：平成16年9月15日
- 目的：XMLビジネス文書 (購買注文、送り状、その他) の標準ライブラリーを開発する
- 共通項目に関する規定内容：
辞書登録名、定義、オブジェクトクラス、プロパティ、データ型など
- 選定理由：UBLは、ebXML Core Components Technical Specificationの初の標準実装で、ebXML OASIS標準のほか、ISO、IEC、ITU、UNECE、W3C、IETEなどの勧告・標準との協調を考慮した設計となっており、今後民間企業が参照する可能性が高いため。